

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	急性膵炎に対するトロンボモデュリンアルファの有用性の検討
研究責任者	聖隷浜松病院 清水恵理奈、長澤正通 浜松医科大学肝臓内科 伊藤潤、川田一仁、小林良正
研究実施体制	多施設共同研究 浜松医科大学肝臓内科を中心にデータ集積を行う。 共同施設として浜松医療センター 住吉信一、磐田市民病院 高橋百合美、 市立島田市民病院 松下雅広
研究期間	調査対象期間:2011年1月～2016年3月 データ収集および解析期間:倫理委員会承認 から平成34年6月まで
対象者	2011年1月～2016年3月までの間に急性膵炎と診断され治療を受けた患者
研究の意義・目的	重症急性膵炎の致死率は10%と高いが、今のところ急性膵炎の治療として大量補液以外には明確な根拠がない。トロンボモデュリンアルファは播種性血管内凝固(DIC)に対して用いられる抗凝固剤のひとつであり、急性膵炎の病態の要因の一つである微小血栓形成に対する効果や、抗炎症作用も有しており治療に有効である可能性がある。 トロンボモデュリンアルファの急性膵炎に対する有用性を検討するのが研究の目的であり、急性膵炎に対する治療の新たな知見を得ることが期待される。
研究の方法	患者情報とともに、検査として行われた腹部エコー、CT、採血結果、治療の方法、治療薬剤、治療経過、予後などを研究代表施設である浜松医科大学医学部附属病院へ送る。 登録症例のデータは症例報告書に記載して浜松医科大学肝臓内科に集積し、全症例に対して統計解析を行う。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 消化器内科 (氏名) 清水恵理奈 TEL:053-474-2222(代表) 消化器内科外来